

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業「市民の学習成果の発表の場提供事業」

「ペットのしつけ、つき合い方教室」を開催しました。

平成26年9月27日（土） アニマルヴォイスメッセンジャーの岩崎亜希さんを講師に迎え、「ペットのしつけ、つき合い方」についてお話していただきました。

岩崎さんは現在のペットとの出会いから、生命の尊さや愛おしさを知り、アニマルコミュニケーターの道に進まれました。縁あって出会った飼い主とペットが幸せな関係を築くこと、殺処分される動物がいなくなることを願って活動しています。



### 《しつけについて》

しつけについてはたくさんの情報がありますが、オールマイティーなしつけはありません。大切なことは自分の家のペット＝うちの子をよく知ること。そして、飼い主の感覚（そのしつけの方法がうちの子にあっているかどうか）を大事にすることです。

具体的な方法として

#### ① 服従させる方法（叱る・体罰等）

メリット：即効性がある。

デメリット：攻撃的になる。服従しているからといって、信頼しているとは限らない。

#### ② おやつを与える方法

メリット：効果が高い。

デメリット：おやつがないと従わなくなることも。おやつに関心のない子には不向き。

#### ③ コミュニケーションをとる方法（人間と同じつき合い方をする）

話しかける

触れ合う

約束を守るなど

例：・日常会話の中で言葉にする、話しかける。

・Yes・No で答えられる質問をする。

・外出前にどこへ行く、何時に帰る等を伝えて出かける。



### 《つき合い方について》

自分の家のペット＝うちの子のプロになる。

・人間とは違うことが多いことを知る。（本能・習性など）

・人間と同じように豊かな心を持っていることを知る。

・人間の食べ物は与えない。→成人病や肥満の原因に!!

・噛み癖は、叱らないで与えない罰を与える。→根くらべ!!

最後に「動物にこそゆとり教育を」「最初からバカな子（ペット）はいない。飼い主がバカな子を育てる。」という言葉が印象的でした。少し視点や発想を変えることで飼い主もペットも豊かな生活の可能性が広がることを教えていただいた時間でした。